

竹中大工道具館

竹中大工道具館は、竹中工務店創立85周年の記念事業として昭和59年(1984)7月、神戸市中央区中山手に開館しました。

この地は、明治32年(1899)に竹中藤右衛門が創業の地・名古屋を離れ、竹中工務店を創立した地です。

大工道具は、品質のよいものほど摩耗するまで使われ、消滅するという厳しい宿命をもっています。

これを民族遺産として収集・保存し、さらに研究・展示を通じて後世に伝えていくことを目的に、当館は企業博物館としてスタートしました。

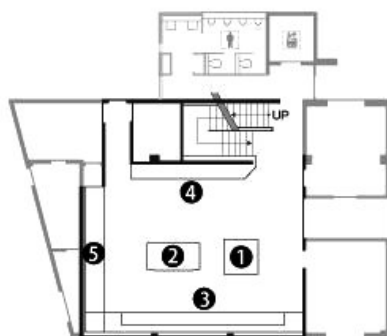
その後、平成元年(1989)に財団法人となり、翌年には博物館法に基づく歴史博物館として登録され、あたらしく公益法人として発足しました。

今日までに収集した資料は25,000余点に上ります。これら大工道具などのすばらしさをご覧いただけるよう、

常設展示にて、テーマごとに実物を展示し、パネル・映像による解説を行っています。

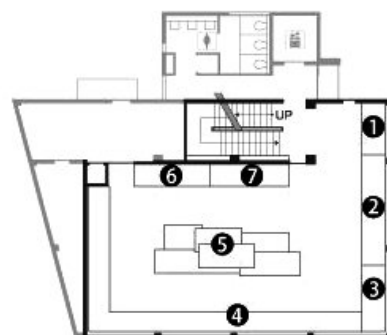
またより多くの方々に匠の技と心を知っていただくために、企画展や講演会、セミナー、体験教室などのイベントを定期的に開催しています。

展示されたさまざまな道具が、来館された方々に、昔の匠の技と心を伝え、未来のものづくりにつないでいく上での糧になることを願っています。



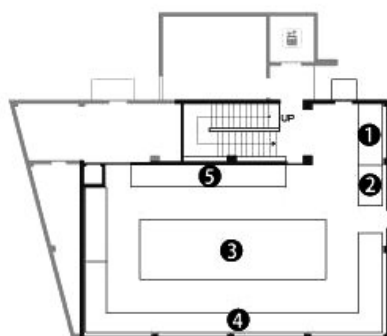
1階 極める

- ① 法隆寺五重塔
- ② 真榎の無垢板
- ③④ 名工品展示
- ⑤ 大工道具の標準編成



2階 造る

- ① 日本の樹
- ② 伐木と製材
- ③ 設計と用材
- ④ 手仕事と道具
- ⑤ 木を組む
- ⑥ 鍛冶の仕事場
- ⑦ 大工の仕事場



3階 伝える

- ① ガイダンス映像
- ② 建築工人の世界
- ③ 歴史の転換点
- ④ 道具の歴史
- ⑤ 海外の道具

本館：地上3階+地下1階

※2009年改装

敷地面積：423平方メートル

建築面積：246平方メートル

延面積：1,052平方メートル

主な収蔵品 ※2012年現在

大工道具	15283
伐木・製材道具	394
鍛冶道具	696
造作その他の道具	2215
文献史料他	8070
音映像資料	760
復元品・標本類	743
風俗資料	159